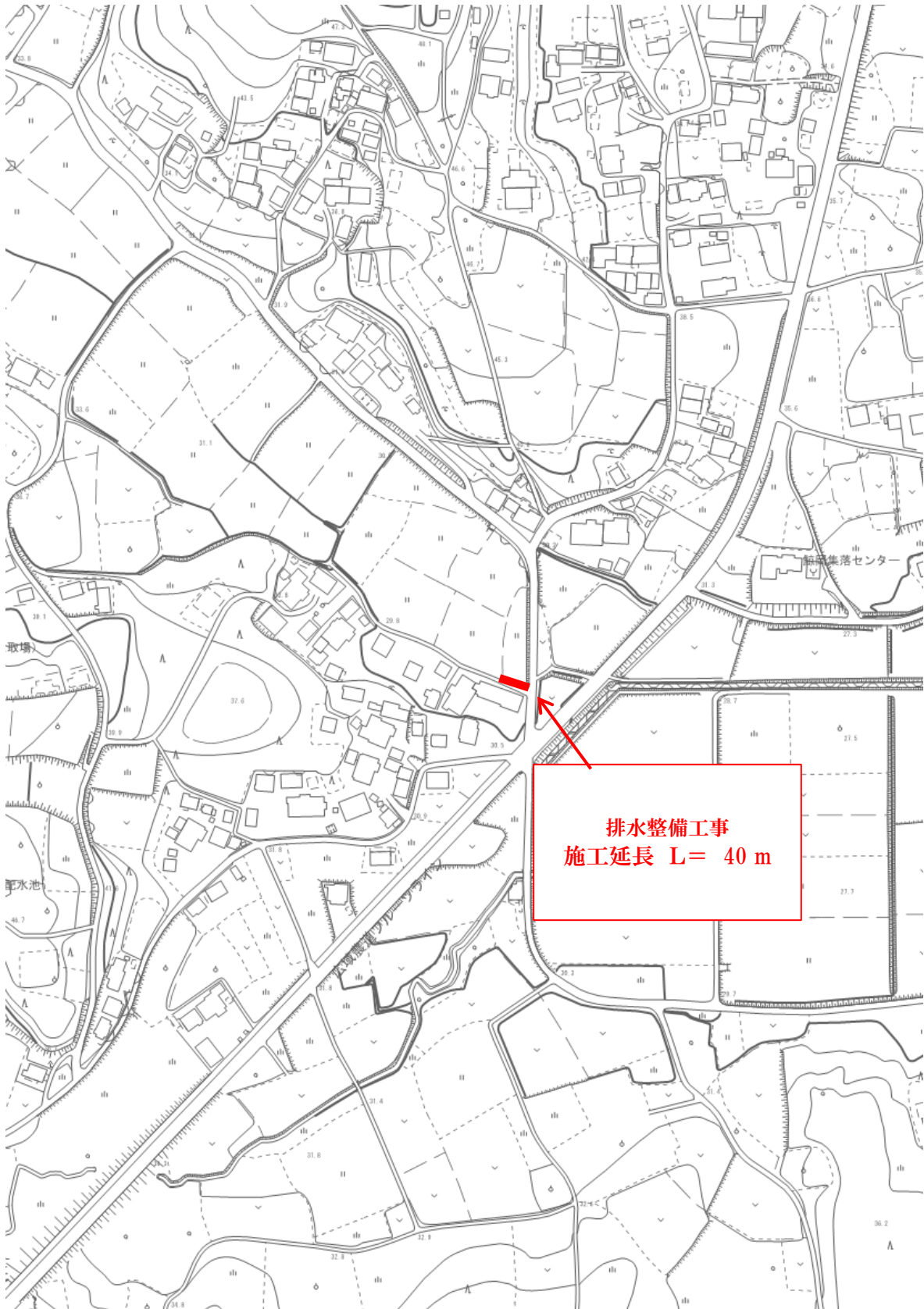


工事起工 概要書

部 長	次長	課長	課長補佐	係長	課員	審査員	設計者			
執行年度		平成 29 年度								
工事番号 工事名		第 29-01-801-3-093号 29単・市道B3093号線排水整備工事 起工 設計書								
工事場所 又は履行場所										
施工方法		原契約年月日			年 月 日					
工期又は 履行期間		平成 年 月 日 から平成 30年 3月15日 まで 日間								
受注者										
費 目		起 工		第1回変更		増 減 (△)				
起 工 額								変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率		
請負(委託) に付する額								請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$		
工事(業務) 価 格								(小数第7位切り捨て6位止め)		
測量試験費 又は工事雑費								変更積算工事価格 - 円		
消費税相当額								請負比率 -		
請負(委託) 決 定 額								変更工事価格 - 円		
工 事 概 要										
内 容		規格 1	数量 1	単位 1	規格 2	数量 2	単位 2	規格 3	数量 3	単位 3
道路改良工事		L =	40	m	W =		m	車線数		車線
側溝工 可変勾配側溝		L = 40 m								
集水枘設置工		N = 1 基								
変更理由										

位置図

29単・市道B3093号線排水整備工事
石岡市 鯨岡 地内



特記仕様書

(総則)

第1条 本特記仕様書は、石岡市の発注する建設土木工事に適用する。

2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇のほか、作業期間中の全土曜日を含んでいる。

(工事数量)

第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

第4条 工事施工の作業時間帯は、下表を標準とすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたりサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
基礎工	再生クラッシャーラン	RB-40, RC-40

(建設機械)

第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1)積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2)過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3)資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにす

ること。

- (4) さし枠装着車，物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず，また積み込ませないこと。また，これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両，さし枠装着車，不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等，過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には，早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み，法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ，同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては，交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては，別添図面のとおり，交通誘導員(特に必要な場合，交通誘導警備業務に係る一級または二級検定合格警備員を含む)及び保安要員を配置し，一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお，交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とするとともに，別添図面の配置により難しい場合には，監督員と協議すること。

(発生土の処理)

第10条 本工事における発生土については，監督員の指示する場所に処理すること。

(不正軽油の使用防止)

第11条 本工事の施工にあたっては，下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は，早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方，または燃料納入業者を選定するにあたっては，不正軽油を使用する者，または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また，調査の際には，現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して，法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は，直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第12条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第13条 請負人は，共通仕様書1-1-34に基づき，労働安全衛生法等関係法令を遵守し，特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は，高所作業における作業床，囲い，二段手すり，幅木，防網の設置，作業員の安全帯の使用，悪天候時の作業禁止，照度の保持，踏み抜きの防止，不用のたて杭等における危険の防止，昇降設備の設置，墜落危険箇所の立入禁止等

- により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
- (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
 - (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
 - (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
 - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
 - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第14条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

工事数量総括（内訳）表

第 29-01-801-3-093 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路改良			1	式		
排水構造物工			1	式		
作業土工			1	式		床掘り 16.000 m3 埋戻し 16.000 m3 基面整正 35.000 m2 路盤 4.000 m3
側溝工			1	式		自由勾配側溝 40.000 m 側溝蓋 38.000 枚
集水桝・マンホール工			1	式		プレキャスト集水桝 1.000 箇所
構造物撤去工			1	式		
排水構造物撤去工			1	式		U型側溝撤去 40.000 m 蓋版撤去 24.000 枚
仮設工			1	式		
水替工			1	式		ポンプ排水 4.000 日
共通仮設			1	式		
共通仮設費			1	式		
安全費			1	式		安全管理員 4.000 人日
直接工事費計			1	式		
共通仮設費（率計上）			1	式		
共通仮設費計			1	式		
純工事費			1	式		
現場管理費			1	式		

工事数量総括（内訳）表

第 29-01-801-3-093 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
工事原価						
			1	式		
一般管理費等						
			1	式		
工事価格						
			1	式		
消費税相当額						
			1	式		
請負工事費						
			1	式		

本工事費内訳書

第 29-01-801-3-093 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良									
排水構造物工									
作業土工									
床掘り					16.000	m3			
床掘り 土質区分(土砂), 施工方法(標準), 土留方式 の種類(無し), 障害の有無(障害無し)					16.000	m3			施工P 第0001号代価表
埋戻し					16.000	m3			
埋戻し 施工方法(最大埋戻幅1m未満)					16.000	m3			施工P 第0002号代価表
基面整正					35.000	m2			
基面整正					35.000	m2			施工P 第0003号代価表
路盤					4.000	m3			
路盤 平均厚さ(225mmを超え275mm以下), 材料(再生 グラッサラン RC-40), 費用の内訳(全ての費用)					4.000	m2			施工P 第0004号代価表
側溝工									
自由勾配側溝					40.000	m			

本工事費内訳書

第 29-01-801-3-093 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
自由勾配側溝[市場単価] 600 x 1400 規格・仕様(L=2000mm 1000超え2000kg/個 以下),基礎コンクリートの種類(生コンク リート(各種)),基礎コンクリート設計数 量(実数入力)(1.32 m3/10m),施工規模(5 0m以上(標準)),時間的制約を受ける場合 の補正(無),夜間作業の補正(無),基礎碎石 施工の有無(有),基礎碎石の種類(碎石(各 種)),基礎碎石設計数量(実数入力)(1.3 2 m3/10m),底部コンクリートの種類(18-8- 40(高炉)),底部コンクリート設計数量(実数(0.3 m3/10m))	20.000	m			
自由勾配側溝[市場単価] 600 x 1300 規格・仕様(L=2000mm 1000超え2000kg/個 以下),基礎コンクリートの種類(生コンク リート(各種)),基礎コンクリート設計数 量(実数入力)(1.32 m3/10m),施工規模(5 0m以上(標準)),時間的制約を受ける場合 の補正(無),夜間作業の補正(無),基礎碎石 施工の有無(有),基礎碎石の種類(碎石(各 種)),基礎碎石設計数量(実数入力)(1.3 2 m3/10m),底部コンクリートの種類(18-8- 40(高炉)),底部コンクリート設計数量(実数(0.3 m3/10m))	20.000	m			
側溝蓋	38.000	枚			
蓋版[市場単価]グレーチング 作業区分(据付け),蓋版の種類(蓋版(各種)),蓋版の質量(40を超え170kg/枚以下), 時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間 作業の補正(無),施工箇所における補正(無)	2.000	枚			
蓋版[市場単価]C o 作業区分(据付け),蓋版の種類(蓋版(各種)),蓋版の質量(40を超え170kg/枚以下), 時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間 作業の補正(無),施工箇所における補正(無)	36.000	枚			
集水桝・マンホール工					
プレキャスト集水桝	1.000	箇所			

本工事費内訳書

第 29-01-801-3-093 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
プレキャスト集水桝 作業区分(据付), 製品質量 (kg/基) (1600kgを超え2200kg以下), 基礎碎石の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	1.000	基			施工P 第0005号代価表
プレキャスト集水桝(材料費) 1200 x 1200 x 1500	1.000	基			施工P 第0006号代価表
構造物撤去工					
排水構造物撤去工					
U型側溝撤去	40.000	m			
U型側溝[市場単価] 作業区分(再利用撤去), L=1000・L=4000・L=5000使用の有無(無), U型側溝の種類(側溝(各種)), U型側溝の規格・仕様(L=2000mm), U型側溝の質量(1000kg/個以下), 施工規模(50m以上(標準)), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正(無), 施工箇所における補正(無)	40.000	m			
蓋版撤去	24.000	枚			
蓋版[市場単価] 作業区分(再利用撤去), 蓋版の種類(蓋版(各種)), 蓋版の質量(40を超え170kg/枚以下), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業の補正(無), 施工箇所における補正(無)	24.000	枚			
仮設工					
水替工					
ポンプ排水	4.000	日			
ポンプ運転工 排水方法・動力源(作業時排水 発動発電機), ポンプ台数(実数入力)(1台)		日			
共通仮設					

本工事費内訳書

第 29-01-801-3-093 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
共通仮設費					
安全費					
安全管理員	4.000	人日			
交通誘導警備員B 作業区分(昼間勤務(交替要員無し))	4.000	人日			
直接工事費計					
共通仮設費(率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 床掘り

施工P(機46.89%, 労38.18%, 材14.93%, 市0.00%)

第 29-01-801-3-093号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0.8m ³	46.890	%			K1
運転手 (特殊)	38.180	%			R1
軽油 1.2号	14.930	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質区分	1	土砂
J02 施工方法	1	標準
J03 土留方式の種類	1	無し
J04 障害の有無	1	障害無し

第 0002 号 代価表 埋戻し

施工P(機7.00%, 労90.46%, 材2.54%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 8 0 1 - 3 - 0 9 3 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³	6.230	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.770	%			K2
普通作業員	54.980	%			R1
特殊作業員	27.000	%			R2
運転手 (特殊)	8.480	%			R3
軽油 1.2号	1.940	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.600	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

J 0 1	条件名称 施工方法	入力値 4	入力名称 最大埋戻幅1m未満
-------	--------------	----------	-------------------

第 0003 号 代価表 基面整正

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)

第 2 9 - 0 1 - 8 0 1 - 3 - 0 9 3 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	100.000	%			R1
			(標準単価 積算単価))
条件名称	入力値	入力名称			

第 0004 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.12%, 労65.48%, 材28.40%, 市0.00%)

第 29-01-801-3-093号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	3.170	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.780	%			K2
普通作業員	27.560	%			R1
運転手(特殊)	23.100	%			R2
特殊作業員	12.920	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	26.890	%			Z1
軽油 1.2号	1.470	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	6	225mmを超え275mm以下
J02 材料	6	再生クラッシャー RC-40
J03 費用の内訳	1	全ての費用

第 0005 号 代価表 フレキャスト集水桝

施工P(機15.66%, 労79.82%, 材4.52%, 市0.00%)

第 29-01-801-3-093号

1.000 基 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準・クレーン機能付き] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³ 2.9t吊	13.050	%			K1
普通作業員	23.230	%			R1
世話役	20.590	%			R2
運転手 (特殊)	16.460	%			R3
特殊作業員	6.250	%			R4
軽油 1.2号	3.770	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 製品質量 (kg/基)	6	1600kgを超え2200kg以下
J 0 3 基礎碎石の有無	1	有り
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

第 0006 号 代価表 プレキャスト集水桝(材料費)

施工P(機0.00%, 労0.00%, 材100.00%, 市0.00%)

第 29-01-801-3-093号

1.000 基 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
集水桝	100.000	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称

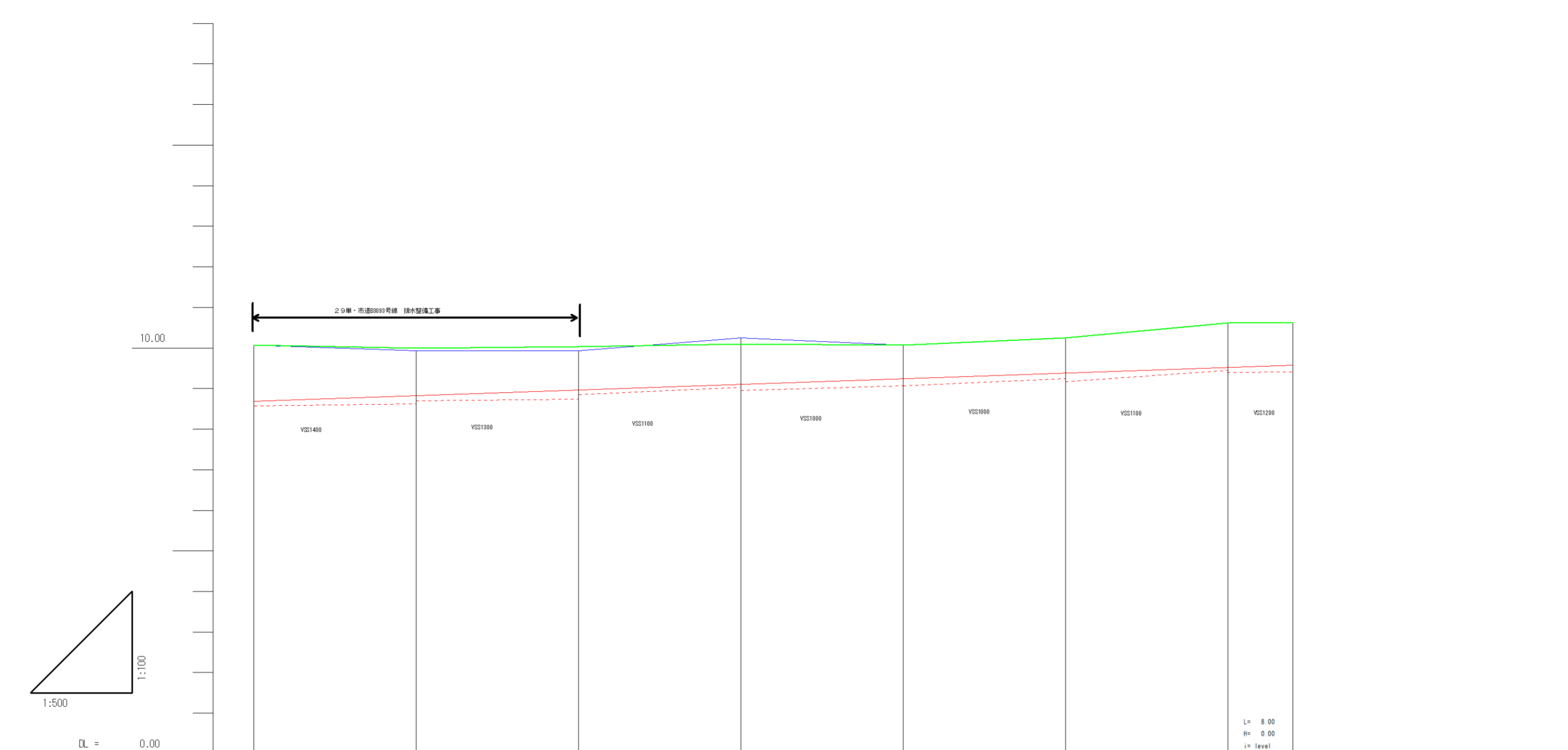
数量計算総括表

工事名:29単・市道B3093号線 排水整備工事 工事箇所:石岡市鯨岡地内

工種	種別	規格	数式	数量	単位
土工					
	床堀		W 0.4 × H 1.0 × L 40 = 16.0	16.0	m ³
	埋戻	埋戻D	W 0.4 × H 1.0 × L 40 = 16.0	16.0	m ³
	基面整正		W 0.88 × L 40 = 35.0	35.0	m ²
路盤工					
	路盤	RC-40	0.4 × 0.25 × L 40 = 4.0	4.0	m ³
構造物撤去工					
	蓋撤去工	撤去・再利用		24.0	枚
	側溝撤去工	撤去・再利用		40.0	m
排水工					
	VS側溝 Sタイプ	600x1400	20.0 = 20.0	20.0	m
		600x1300	20.0 = 20.0	20.0	m
	コンクリート蓋設置	W600 t=130 L=500	36.0 = 36.0	36.0	枚
	グレーチング	落ち蓋式U形側溝用 T-14 L=1000 600用	2.0 = 2.0	2.0	枚
	集水柵	1200x1200x1400	1.0 = 1.0	1.0	基
水替工					
	排水ポンプ			4.0	日



施工年度	平成 29 年度
工事名	市道B3093号線 排水整備工事
路線名	市道B3093号線
工事箇所	石岡市鯨岡
図面種別	計画平面図
縮 尺	S=1 : 500
図面番号	全 葉 の 内 号 (/)
内容表示	~



勾配							
盛り土		0.07	0.10				
切り土				0.15			
舗装計画高	10.07	10.00	10.03	10.10	10.07	10.25	10.21
側溝計画高	8.72	8.88	8	8.14	8.28	8.42	8.58
地盤高	10.07	9.93	9.93	10.25	10.07	10.25	10.21
追加距離	0.00	20.00	40.00	60.00	80.00	100.00	120.00
単距離	0.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	8.00
測点	S.P	M.1	M.2	M.3	M.4	M.5	S.P

施工年度	平成 29 年度
工事名	市道B3093号線 排水整備工事
路線名	市道B3093号線
工事箇所	石岡市鯨岡
図面種別	縦断面
縮尺	図示
図面番号	全 葉 の 内 号 (/)
内容表示	~

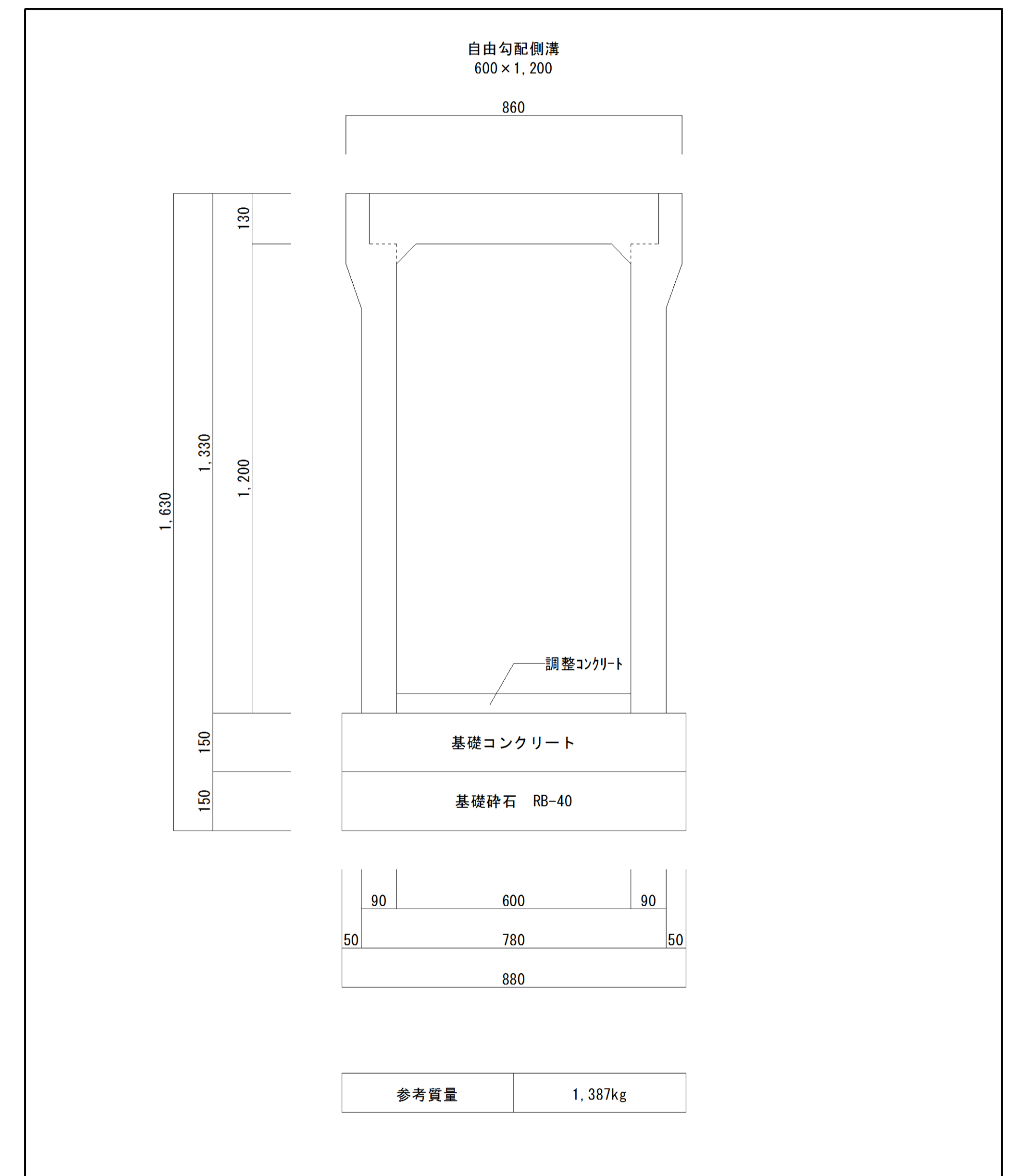
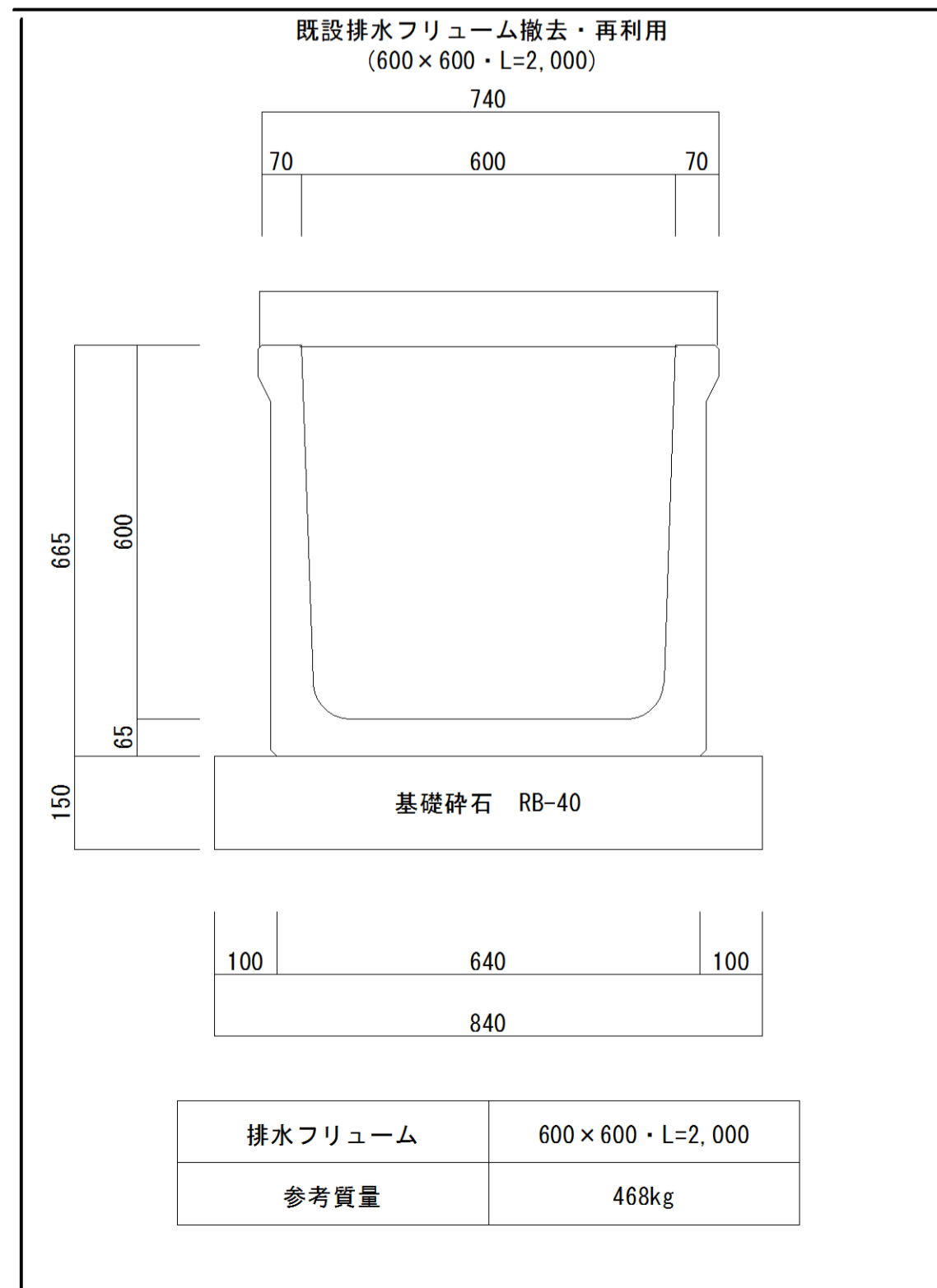
標準断面図 S=1:10

道路境界

2800

400

影響部路盤 RC-40 t=250



年度	平成29年度	図面番号	2/4
工事名	29単・市道B3093号線排水整備工事		
図面名称	標準断面図		
工事箇所	石岡市鯨岡地内		
縮尺	図示		
石 岡 市			